

# まちネット緑 2026 年 1 月定例会議事録

日時・場所:2026 年 1 月 7(水)16:00~18:00 みどリーむ大会議室

出席者:池田、片山、黒沢、佐々木、田中、長嶋、樋口

配布・回覧資料:

- ① まちネット緑 1 月定例会議題
- ② お知らせ(みどリーむ休館日と開会時間の変更:4 月 1 日から)
- ③ イベントチラシ
  - ・1 月 23 日(金)~25 日(日) みどリアートパーク・ギャラリー  
(ブラジルの子どもとつながろう~絵でつながる国際交流~) みどリーむ国際交流ラウンジ  
主催:みどリーむ国際交流ラウンジ
  - ・Open! みどリーむ vol.26 2 月 14 日(土) みどリーむ
  - ・第 165 回「サロンふらっと ~サロン寄席~」2 月 15 日(日) みどリーむ
- ④ まちネット勉強会 2025 レポート
- ⑤ 横浜市中期計画 2026~2029(素案):パブリックコメント案内
- ⑥ 「広報よこはま」1 月号

## 1. みどリーむ からののお知らせ 資料-②

日曜日:9 時~17 時(変更なし)

月曜日:9 時~21 時 → 休館(祝日も)

火曜日:9 時~21 時 → 9 時~17 時

水曜日:9 時~21 時 → 9 時~20 時 30 分

木曜日:9 時~21 時 → 9 時~17 時

金曜日:9 時~21 時 → 9 時~20 時 30 分

土曜日:9 時~21 時 → 9 時~20 時 30 分

祝日:9 時~17 時(変更なし)

相談対応等はこれまで通り 17 時まで

\* 資料-②には、変更前(赤字部分)が書かれていない

\* 変更理由(経緯)は?

→ 「みどリーむ」の使用状況に鑑みて、運営委員会にはかり、承認された。

\* サービスの低下になるのでは?

→ 人員の削減ではなく、開館時間(日)の短縮分を日常の対応(相談業務等)に当て、サービスの低下にならない様にする(地域振興課の回答)

→ 夜間は 2 人体制にする。

\* 他区でも時間短縮の傾向なのか確認して欲しい

→ 同じ傾向。みどリーむ は、横浜市内では開館時間が長い方だ(地域振興課の回答)

\* 行政と住民が協働で地域活動を進めているのは、緑区(みどリーむ)だけ(地域振興課)

\* みどリーむ利用の他部会からのクレームは今のところないようだ(地域振興課)

\* みどリーむ のような施設は、生涯学習を通して社会人を育てる場。利用を拡大できる様に行政も働きかけるべきではないか。安易に時間短縮へ走るのは問題だ。

## 2. イベントの案内 資料-③

### 3. まちネット勉強会 2025 振り返り 資料-④

\* テーマ(新型コロナに限らず、幅広い年代を対象にした感染症の話)は良かったし、素晴らしい内容だったが、参加者が少なかった(9名:まちネット6人、防災塾だるま1人、その他2人(吉開さんの紹介)の)が残念。

\* 各人が、知り合いに声をかけたり、チラシを持って幼稚園を周ったり、タウンニュースに掲載して貰ったりしたが、集客にはつながらなかった。

→これらの活動は無駄ではなく、今後に活かせるはず。

\* 原因として考えられることは・・・

・勉強会の日程が12月20日と年末で忙しかったり、クリスマス会や他の行事と重なったりして参加しづらかった。12月20日は岡部先生のご都合に合わせた。

・これまで子育て世代との交流がなかった。

・いつも使っている「みどりーむ」が使えず、広報の協力も得られなかった。

→タイミング(会場・日程)の見極めが大事。9～10月頃はどうか。

\* 素晴らしい内容だったので、大勢の人に聞いてもらいたい。岡部先生とも日程を調整して再度講演してもらったらどうか(今回と同じ内容でもかまわないので)。

\* ヘルスマートの行事に組み込んだらどうか。

### 4. 横浜市中期計画 2026～2029 年に対するパブコメ 資料-⑤ 広報よこはま 1月号 4面

募集期間:1月5日(月)～2月27日(金)

今回は、計画(目指すべき姿)の他に、「横浜を取り巻く状況と課題」の項目があり、それを見しながら現状認識や、計画の是非を判断できるようになっている。

### 5. 「広報よこはま 1月号」から

12面:読者アンケート

16面:横浜春節祭 2026(1月20日～3月3日) 中華街、みなとみらい、横浜駅、新横浜駅

### 6. フリートーク

\* 新型コロナウイルスについて:

守り(マスクの装着)だけでなく、攻め(排気口の手前に紫外線照射装置を付けて菌を殺す(システムの普及)も考えた方が良い。

\* 長期周期振動で、タンクの浮き屋根が揺れて外周との摩擦で火災になる事例が多い。

タンクの底から不活性ガスを噴射させれば、浮き屋根の揺れを抑えることが出来るはず(消火設備に金をかけるよりも効果的)。

\* 人口が減っても成り立つ世の中を目指すべき:

人口が少なくても幸福度の高い国は沢山ある(ヨーロッパなど)。

働けるのに働かせない定年制は廃止した方がよい。若者への負担も減らせる。

\* 大都市への一極集中を止めなければ、大災害が起きた時に対応できない。

→都市に住む人に対する税金を上げ、地方に住む人への税金を低くすれば、大都市に住むメリットがなくなり、住民が地方へ流れるのではないか。

次回の定例会：

2月4日(水) 16:00～18:00 みどリーむ 大会議室